

板寄せ方式における約定値段決定方法

条件	
条件1	売り又は買いのいずれか一方に指値がある値段のうち最も高い値段に1ティック加えた値段から最も安い値段に1ティック減じた値段の範囲(注1)のうち、売呼値と買呼値が対当する値段
条件2	条件1の値段が複数ある場合は、執行数量が最大となる値段
条件3	条件2の値段が複数ある場合は、売注文の累計数量と買注文の累計数量の差(以下「不均衡数量」といいます。)が最小となる値段
条件4	条件3の値段が複数ある場合は、次のいずれかの値段 1. すべての不均衡数量が売越しとなるときは、このうち最も安い値段 2. すべての不均衡数量が買越しとなるときは、このうち最も高い値段 3. 1.及び2.以外のときは、条件5の値段
条件5	次のいずれかの値段 1. 不均衡数量が最小となる値段(当該値段に売越しとなる値段及び買越しとなる値段がある場合は、不均衡数量が売越しとなる値段のうち最も安い値段と不均衡数量が買越しとなる値段のうち最も高い値段に限ります。以下、同じ。)のうち最も高い値段が板中心値段(注2)より低い場合は、当該最も高い値段 2. 不均衡数量が最小となる値段のうち最も安い値段と最も高い値段の間に板中心値段がある場合は、板中心値段 3. 不均衡数量が最小となる値段のうち最も安い値段が板中心値段よりも高い場合は、当該最も安い値段

(注1) 1ティック加減した値段が呼値の制限値幅を超える場合があります。

(注2) 板中心値段は、当取引日の直前の約定値段、ない場合は当取引日の呼値の制限値幅の基準値段(ストラテジー取引においては不均衡数量が最小となる値段の範囲のうち最も高い値段)

条件2で決定する場合A

	売累計(A)	売数量	値段	買数量	買累計(B)	執行数量	不均衡
板寄せ前	50	50	成行	150	150		
	⋮		⋮		⋮		
	300		20,030		150		
	300		20,020		150	150	150
	300	250	20,010	150	300	300	0
	50		20,000		300	50	250
	50		19,990		300		
結 果	条件1により20,000円から20,020円が候補となる。 条件2により執行数量が最大となる20,010円で約定が成立。						

条件2で決定する場合B

	売累計(A)	売数量	値段	買数量	買累計(B)	執行数量	不均衡
板寄せ前	100	100	成行	150	150		
	⋮		⋮		⋮		
	300		20,030		150	150	150
	300		20,020	50	200	200	100
	300		20,010		200	200	100
	300	200	20,000	300	500	300	200
	100		19,990		500	100	400
結 果	条件1により19,990円から20,030円が候補となる。 条件2により20,000円で約定が成立。						

条件3で決定する場合A

	売累計(A)	売数量	値段	買数量	買累計(B)	執行数量	不均衡
板寄せ前	1000	1000	成行	300	300		
	⋮		⋮		⋮		
	1500		20,040		300	300	1200
	1500		20,030	100	400	400	1100
	1500		20,020	200	600	600	900
	1500	250	20,010	300	900	900	600
	1250	250	20,000		900	900	350
	1000		19,990		900	900	100
結 果	条件1により19,990円から20,040円が候補となる。 条件2により19,990円から20,010円が候補となる。 条件3により19,990円で約定が成立。 ※指値がない値段での約定が成立することとなる。						

条件3で決定する場合B

	売累計(A)	売数量	値段	買数量	買累計(B)	執行数量	不均衡
板寄せ前	50	50	成行	30	30		
	⋮		⋮		⋮		
	110		20,040		30	30	80
	110		20,030	10	40	40	70
	110		20,020		40	40	70
	110	10	20,010	50	90	90	20
	100	50	20,000		90	90	10
	50		19,990	15	105	50	55
	50		19,980		105	50	55
結 果	条件1により19,980円から20,040円が候補となる。 条件2により20,000円から20,010円が候補となる。 条件3により20,000円で約定が成立。						

条件4.1で決定する場合

	売累計(A)	売数量	値段	買数量	買累計(B)	執行数量	不均衡
板寄せ前	50	50	成行	10	10		
	⋮		⋮		⋮		
	50		20,040		10		
	50		20,030		10		
	50		20,020		10	10	40
	50		20,010	10	20	20	30
	50		20,000		20	20	30
	50		19,990		20		
	50		19,980		20		
結 果	条件1により20,000円から20,020円が候補となる。 条件2および条件3により20,000円から20,010円が候補となる。 条件4.1により20,000円で約定が成立。						

条件4.1で決定する場合-制限値幅を超過

	売累計(A)	売数量	値段	買数量	買累計(B)	執行数量	不均衡
板寄せ前	50	50	成行	10	10		
	⋮		⋮		⋮		
	50		20,040		10		
	50		20,030		10		
	50		20,020		10	10	40
	50		20,010	10	20	20	30
	50		20,000		20	20	30
	50		19,990		20		
	50		19,980		20		
	呼値の制限値幅の下限値段						
結 果	条件1により20,000円(呼値の制限値幅の下限値段から1tick下の値段)から20,020円が候補となる。 条件2および条件3により20,000円から20,010円が候補となる。						

条件5.1で決定する場合

	売累計(A)	売数量	値段	買数量	買累計(B)	執行数量	不均衡
板寄せ前	20		成行	10	10		
	⋮		⋮		⋮		
	20		20,010		10	10	10 売越
	20	10	20,000		10	10	10 売越
	10		19,990		10	10	0
	10	10	19,980		10	10	0
	0		19,970		10	0	10 買越
※板中心値段は20,000円とします。							
結 果	条件1により19,970円から20,010円が候補となる。 条件2により19,980円から20,010円が候補となる。 条件3により19,980円から19,990円が候補となる。 条件5.1により板中心値段である20,000円に近い19,990円で約定が成立。						

条件5.2で決定する場合

	売累計(A)	売数量	値段	買数量	買累計(B)	執行数量	不均衡
板寄せ前			成行				
	2		20,030		0	0	2
	2		20,020	1	1	1	1 売越
	2	1	20,010		1	1	1 売越
	1		20,000	1	2	1	1 買越
	1	1	19,990		2	1	1 買越
	0		19,980		2	0	2
※板中心値段は20,000円とします。							
結 果	条件1により19,980円から20,030円が候補となる。 条件2および条件3により19,990円から20,020円が候補となる。 条件5.2により板中心値段である20,000円で約定が成立。						

条件5.3で決定する場合

	売累計(A)	売数量	値段	買数量	買累計(B)	執行数量	不均衡
板寄せ前	10	10	成行		0		
	⋮		⋮		⋮		
	10		20,030		0	0	10 売越
	10		20,020	10	10	10	0
	10		20,010		10	10	0
	10		20,000	10	20	10	10 買越
	10		19,990		20	10	10 買越
※板中心値段は20,000円とします。							
結 果	条件1により19,990円から20,030円が候補となる。 条件2により19,990円から20,020円が候補となる。 条件3により20,010円から20,020円が候補となる。 条件5.3により板中心値段である20,000円に近い20,010円で約定が成立。						

指値注文が無く成行注文のみの場合

	売累計(A)	売数量	値段	買数量	買累計(B)	執行数量	不均衡
板寄せ前	10	10	成行	5	5		
			⋮		⋮		
			20,030				
			20,020				
			20,010				
			20,000				
		19,990					
結 果	条件1を満たす値段がないため、約定不成立。						